

テーマ：2013年1-3月期GDP予測（最終版）
～消費主導で前期比年率+3.2%の高成長を予想～

発表日：2013年5月10日（金）

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 新家 義貴
TEL:03-5221-4528

○ 前期比年率+3.2%の高成長を予想

2013年1-3月期の実質GDP成長率（5月16日公表予定）を前期比年率+3.2%（前期比+0.8%）と予測する。当社は、4月30日の段階で前期比年率+2.8%（前期比+0.7%）を予想していたが、その後公表された経済指標の結果を反映し、予測値を若干上方修正する。

本日公表された2013年3月分の国際収支統計の結果を反映させたことで、輸出の予測値を前期比+2.4%（従来予測値：同+1.9%）に上方修正した。想定よりも3月のサービス輸出が上振れたことが影響している。また、輸入については、3月のサービス輸入下振れにより同+0.4%（従来予測値：同+0.7%）と小幅下方修正した。その結果、1-3月期の外需寄与度の予測値は前期比+0.3%ポイントと、従来予測値（前期比+0.2%ポイント）から上方修正になった。

一方、個人消費については、5月7日に公表された3月分の家計消費状況調査の結果を反映し、前期比+0.9%（従来予測値：同+1.0%）に小幅下方修正した。その他の需要項目については変更していない。これらを反映した結果、1-3月期の実質GDP成長率を前期比年率+3.2%と予測する。

（需要項目ごとの予測値の詳細と解説は、Economic Indicators「2013年1-3月期GDP予測」（4月30日発行）をご参照ください）

2013年1-3月期GDP予測

（％）	
実質GDP	0.8
（前期比年率）	3.2
内需寄与度	0.5
（うち民需）	0.4
（うち公需）	0.0
外需寄与度	0.3
民間最終消費支出	0.9
民間住宅	1.9
民間企業設備	▲ 0.7
民間在庫品増加（寄与度）	▲ 0.1
政府最終消費支出	0.3
公的固定資本形成	▲ 0.7
財貨・サービスの輸出	2.4
財貨・サービスの輸入	0.4
名目GDP	0.5
（前期比年率）	1.9
GDPデフレーター【前年比】	▲ 0.9

※断りの無い場合、前期比（％）

（出所）内閣府「国民経済計算」、第一生命経済研究所